

メガ・キエーロ 使い方マニュアル



キエーロとは

電力を使わずに、生ごみを土と太陽と風之力でほぼ完全に分解する減量容器です。土の中でバクテリアが生ごみを分解するため、においや虫が発生しにくく、夏場は1週間くらいで生ごみが消滅します。※土は市販の「黒土」です。

弘前市

始める前に

1. 設置場所は日の当たる、風通りの良い場所に設置しましょう。

生ごみを分解するバクテリアは熱と酸素を必要とします。

土の表面が乾くことでにおいや虫の発生を防ぐことができます。



2. 土を掘るためのシャベルと水を入れるためのバケツ等をご準備ください。

小型の移植ごてなどが使いやすいです。

水を加えるためのバケツやペットボトル、小さなじょうろがあると便利です。

生ごみを貯めたり、移動させるためにふた付きの容器も活躍します。

使用方法

①穴を掘り、生ごみを投入

生ごみは可能な限り小さくし、深めに穴を掘って埋めます。ごみの量が多すぎると分解効率が落ちるので、一度の投入量は、お茶わん一杯分くらいから始め、分解スピードに応じて増やしたり減らしたりしてみます。



②水を加え土とよく混ぜる

効率よく分解するために、水を加えてザクザクと土とよく混ぜます。



③乾いた土を表面にかぶせる

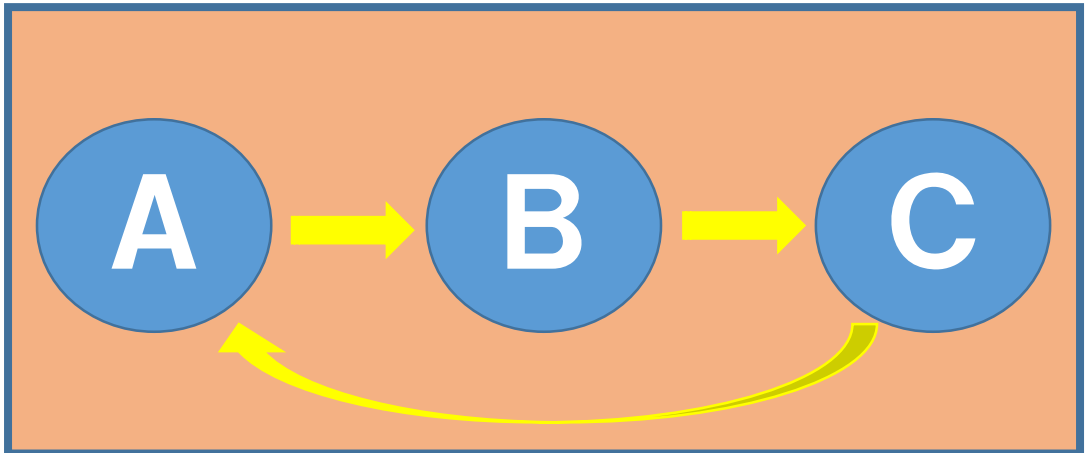
乾いた土を表面にかぶせることで、においや虫の発生を防ぐことができます。深さは5cmくらいで大丈夫です。

これで終了です。



生ごみを入れる場所

生ごみは下の図のように順番に埋めると効率よく分解することができます。



Aに生ごみを入れた後、数日たってからBにさらに数日後にCに生ごみを入れます。Aの分解が進むと、Bの前に再びAに生ごみを投入できるので、少ない容積で生ごみを効率的に処理できます。

分解には夏場の暑い季節だと5日、冬場は2、3週間くらいかかります。分解が遅い場合は、再度掘り起こし、水を加え、ザクザクと土と混ぜ込む作業をしてください。

ワンポイント

ごみを入れた場所と日にちが分かるように、目印を付けておくと便利です。



分解しやすいもの

調理済みのものや発酵したもの、小さなものが早く分解されます。

- ・ 調理されたもの（天ぷら、炒め物、煮物）
- ・ ごはん、パン、そばやパスタなど麺類
- ・ 魚肉、ハンバーグなど火を通した肉や野菜
- ・ 天ぷら油、ドレッシング、スープ
- ・ お茶や紅茶の葉、コーヒーのかす
- ・ ヨーグルトなどの発酵食品

分解しにくいもの

- ・ グレープフルーツやレモンなどの柑橘類の皮
- ・ 生野菜の芯・葉・皮
（特にトウモロコシの芯と皮、枝豆のさやなど）
- ・ 卵の殻、魚の骨

ほとんど分解できないもの

- ・ 貝殻、かにの殻
- ・ 桃や梅の種
- ・ 動物の骨



ワンポイント

- ① 前回埋めた場所をほぐして、空気を入れましょう！
- ② 食用油は土の中のバクテリアを活発にします！
- ③ 分解しにくいものは小さく細かくしてみましょ！
- ④ 太陽の光と水分、空気の流れが重要です！
- ⑤ 土の表面は5cmくらいの乾いた土をかぶせましょ！

生ごみが消える楽しみ メガ・キエーロ！！



弘前市マスコットキャラクター
たか丸くん (エコバージョン)

弘前市役所市民生活部環境課

お問合せ先：35-1130